

ないえ 議会だより

発行 北海道奈井江町議会 / 編集 広報常任委員会



第20回ないえふれあいまつり

主な記事

- 町政 ここを問う（一般質問） P4~P8
- 移住者インタビュー P9
- 今期4年の決意 P10~P11



おもいやり明日へ

Kindness for Tomorrow



<http://www.town.naie.hokkaido.jp/gikai/>

奈井江町議会

検索

第2回定例会で審議された議案

令和5年6月16日開催

第2回定例会は6月16日から6月20日まで開催され、提案された条例や補正予算、人事案などすべて可決されました。

その結果、令和5年度一般会計予算の歳入歳出に、1億50,240千円を追加し総額は67億55,549千円となりました。(議会傍聴者17名)

【議案審議結果】

報告	令和4年度奈井江町一般会計予算繰越明許費繰越計算書について 担い手確保・経営強化支援事業費16,690千円を令和5年度へ繰越	報告済
	奈井江町第6期まちづくり計画「後期実施計画」の変更について 新規事業の追加、課設置条例の改正による担当課の変更、名称変更 事業年度の変更、7年度以降へ延期のため削除	報告済
補正予算	令和5年度奈井江町一般会計予算補正予算(第3号) 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金6,948万円を追加 (別記P3) 令和4年度の繰越金1億4,092千円の増額、基金繰入金82,226千円の減額 等で歳入歳出に1億5,240千円を追加	全会一致
	令和5年度奈井江町国民健康保険事業会計補正予算(第1号) 令和4年度の繰越金の確定により繰入金の減額	全会一致
	令和5年度奈井江町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号) 令和4年度の繰越金確定等で歳入歳出にそれぞれ8万3千円を追加	全会一致
	令和5年度奈井江町下水道事業会計補正予算(第1号) 石狩川流域下水道組合への負担金3,872千円の追加	全会一致
条例等	こども家庭庁設置法の施行に伴う関係条例の整理に関する条例 国の関係法律の整備に関する法律の施行に伴う改正	全会一致
	奈井江町認定こども園の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例 保育に要する費用の額の算定に関する基準等の一部改正に伴い保育料の 見直しを行うための改正	全会一致
	町有財産の取得について 奈井江町役場新庁舎什器・備品購入(執務関連備品) 契約金額 49,500,000円 契約者 新砂川農業協同組合 奈井江支所	全会一致
	町有財産の取得について 奈井江町役場新庁舎什器・備品購入(収納関連備品) 契約金額 33,000,000円 契約者 株式会社 井戸電気	全会一致
	町有財産の取得について 奈井江町役場新庁舎什器・備品購入(議会席机・ラウンジテーブル・ロビ ー用チェア等) 契約金額 24,860,000円 契約者 有限会社ノース・エコプラン	全会一致
	工事請負契約について(11号東線法面洗掘防止対策工事) 契約金額 91,476,000円 契約者 櫻井千田・鈴木東建・山口経常建設共同企業体	全会一致
	農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて (任期満了となる農業委員会委員について、10名の選任に同意した) 伊藤 弘氏 遠藤 貴與孝氏 尾崎 正広氏 笹木 憲一氏 杉本 雄馬氏 鈴木 康永氏 堀 政博氏 森 謙一氏 山田 豊氏 山中 純枝氏	全会一致

令和5年度奈井江町一般会計予算補正予算(第3号) 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業

令和5年6月16日開催

- (1) 町内事業者エネルギー価格高騰対策 18,000千円
仕入れ・資材・エネルギーの価格等の高騰により影響を受けた事業所（商工業・農業）に対する支援金
- (2) 医療・福祉・介護事業所給付金 3,300千円
エネルギー・食材費等の高騰により影響を受けた、町内に所在する医療・福祉・介護関連事業者に対する給付金
- (3) 奈井江町プレミアム付き商品券発行事業 12,500千円
物価高騰の影響を受けている町民に対し、プレミアム率50%の商品券を発行
- (4) 奈井江商店街売り出し支援事業 3,500千円
町内経済の維持・活性化を図る取組み（スタンプラリー等）に対し支援
- (5) 学校給食費負担軽減事業 1,365千円
物価高騰による学校給食費の値上げを抑制し
保護者負担の軽減を図る
- (6) 非課税世帯等生活支援事業 35,993千円
電気・ガス・食品等の物価高騰による影響を緩和するため、住民税非課税世帯（生活保護世帯含む）に対し、一世帯30,000円の給付金を支給



※事業総額 74,658千円

財源内訳（臨時交付金 69,487千円 一般財源 5,171千円）

第2回臨時会

令和5年4月27日開催

【議案審議結果】

- 令和4年度奈井江町一般会計補正予算(第11号)の専決処分の承認を求める
歳入歳出に80,581千円を追加し、総額を5,820,044千円とする
地方消費税交付金19,262千円、特別交付税22,582千円、国庫支出金40,000千円の増加等を財政調整基金へ積立
- 令和5年度奈井江町一般会計補正予算(第2号)
国庫補助1,419千円 低所得の子育て世帯生活支援特別給付金として支給
- 工事請負契約について コンチェルトホール空調設備更新工事
契約額 50,930千円 契約の相手方 高橋・千永経常建設共同企業体
- 公平委員会の選任につき同意を求めることについて
山口俊哉氏の辞職に伴い、後任に首藤繁勝の選任に同意
- 監査委員の選任につき同意を求めることについて
中野浩二氏の任期満了に伴い、後任に山口俊哉氏の選任に同意

町政 ここを問う

6月定例会では5人の議員が**一般質問**を行いました。

QRコードを読みとることで一般質問の音声を聞くことができます。

農業担い手の確保と育成

農家戸数が

減少傾向にあるが対策は

町長 第三者継承を含め新規就農者の確保に向けて取り組む



遠藤共子

遠藤

農業の担い手不足が深刻ななか、家族や親族以外が後継者となる第三者継承が定着しつつあるが町の考えは

町長

農業の第三者継承については、移譲希望者の経営権や農地、農業施設、機械などの有形資産と、農業技術、経営ノウハウ、販路などの無形資産を家族以外の第三者に受け渡すことによって農業経営を継承するというものであります。

音声はこちら



経営移譲を希望する農業者の経営基盤を引き継ぐことによって、独立就農と比較して早期に農業経営者として自立することができ、地域農業における担い手確保の解決策として取組が行われているところであります。

一方で、農地などの資産評価と資産をどのように引き継ぐか、あるいは移譲希望者と継承希望者の人間関係の構築や、営農技術をめぐる対立などの問題によって継承途中で中止となるなど、第三者継承を円滑に進めるためには、地域の関係者によってサポートを行う体制が重要と考える。

食農教育について

小・中を継続して学ぶ 仕組みが重要

教育長 協議会の中で小・中の特別授業について検討作業をおこなっています

遠藤

食の大切さや、食を支える農の役割、自らの暮らしと社会の営みとの関わり、地域の食文化、命と健康の尊さなどに対する理解を広げていくもの。今後、食の教育を受けた人材を増やしていくことで、農業をより理解し関心を寄せるきっかけとなり、持続可能な農業になることも期待したいが

教育長

CSのアドバイザーとして何度も関わっていただい

現在当町においては、経営規模の拡大による農地の集積によって地域の担い手を中心に継承されている状況にあります。引き続き、第三者継承を希望する農業者や就農規模に関する相談など、担い手センターをはじめ農協などの関係機関と連携し、第三者継承を含めた新規就農者の確保に向けて取り組んでいく。

ております北海道地学協働アドバイザーの森野憲仁先生からは、奈井江町は農業にとどまらず、質・量ともにすばらしい特別授業の取組ができ上がっていると高い評価をいただいておりますが強いて言うなら、小・中の9年間を視野に入れた実施学年について、検討してはどうでしょうかとアドバイザーを受けています。今後の協議会の中で、今までの小・中別々に構築をしてきた特別授業について検討作業を行っていきたいと考えております。

奈井江商業高校について

生徒募集停止案が 提案された経緯について

音声はこちら



石川正人

町長

入学者数が、2年連続して20人を下回り、今年度の入学者数が5人で、今後の入学者数の推計も厳しく、道教委から募集停止の判断をしたと説明を受けた。

石川

奈井江商業高校の募集停止案は今回が初めてなのか？また、今までに公立高校の募集停止案が取り下げられた例はあるのか？

町長

募集停止案の提案をされたのは今回が初めて。また、今まで募集停止案が取

り下げられた事例はない。

これまで町が行った商業高校への支援は？

町長

現在は模試や各種検定料の支援拡充をしている。また、奈井江町を学び発表する事業のコーディネートや、町職員の講義、地域の高齢者へのボランティア活動のプロデュースも行っている。

支援金額は平成23年度に、約170万円、最大で平成29年、1,400万円弱で、令和5年度の予算で300万円強を組んでいる。

石川

令和5年度の支援策の内容と次年度以降の支援は？また、存続させるための支援策は？

町長

今、取り組んでいる支援をしっかりと行い、奈井江商業高校の卒業生、在校生が自信を持てる支援をしたい。在校生や今後の入学生が希望する支援を校長先生と議論しながら行いたい。

町に商業高校が在ることの効果と閉校になった時の影響は？

町長

経済的な影響は、事務用品の購入・修繕、除排雪委託など、約480万円だが、イベントやボランティアで地域が元気になることや、授業やインターシップを通じて醸成した奈井江町の子供たちへの好影響がなくなるのが一番大きいと感じている。

地域別検討協議会への対応を含む、今後の町の対応について

町長

7月から8月に調整、9月に確定する。その中で、奈井江商業高校のポテンシャルや地域との連携を改め

て説明し再考を求めて行く。

石川

募集停止案が決定した場合の対応は？

町長

今までも奈井江商業高校が地域の活性化だけではなく、圏域中でのポテンシャルを訴え、北海道の高等教育再編の考え方を根本的に変えてほしいと訴えてきた。今後も続けていきたい。

石川

道教委が2024年に募集停止を決めた留辺蘂高校は生徒数が増加している。募集停止の決定を翻す予定はないとしているが、学校や関係者は、地域の問題として存続への取組を行った。募集停止が決定してから生徒数が増加したのは異例であり、地域の努力が実った例である。

奈井江商業高校の存続も地域の問題として捉え、奈井江町が主導する全町的な取組が必要と思う。その中で、生徒が興味を持てる力リキウムや部活動、小規

模校の特性を生かした生徒の資質向上策などを具体的に話し合い、生徒の応募を増やすことを考え、奈井江町に高校が必要だと言う強い思いを訴えるべきと思うが、いかがか？

町長

その通りだと思う。昨年から、高等教育の在り方を考え直すべきと訴えてきている。しかし道教委には、この地域には子供たちが選択し通学できる高校が多くあり、議員が提案した事についても、非常に難しい課題があると言われる。

今後も存続を訴えていくが、奈井江中学校の生徒数自体が少ない中で、奈井江商業高校に通っている多くの生徒が北空知学区の子供たちである。存続の機運を盛り上げることは非常に難しい。北空知学区全体でその議論を作り、奈井江商業の位置づけが議論されたとき初めて可能になる形であるので、方法論としては明示されているが、そこに至る道筋は極めて難しいと認識している。

ゼロカーボンシティ宣言

カーボンニュートラル

への取り組み

音声はこちら



町長 国の脱炭素に向けた関連予算約1・6兆円、先行地域では、太陽光発電設置や断熱リフォームなどに補助金も



根岸一志

根岸

これまでとこれからのカーボンニュートラルに向けた取り組みについて。

町長

防犯灯や公共施設のLED化、低燃費な公用車の購入、山林の乱開発を防ぎ、CO₂の吸収源としても機能するよう、健全な森林整備。また、公共施設の新築や改修工事、備品の更新の際に、省エネ型機種の採用や機密断熱性能に配慮、節電

対策などに取り組んできました。

なかでも「雪米の蔵」は雪冷熱を活用する冷房システムで、使用電力量約9割を削減、また、石狩川流域下水道組合では、発生したメタンガスで発電し、使用電力量の約3割を削減。これからの主な取り組みは行政書類のペーパーレス化やこの取り組みを広く呼びかけていくこと。

根岸

脱炭素事業の補助金に向けた取り組みは。

町長

公共施設の太陽光発電設備や蓄電池の導入、再エネ電力、EV車の活用など、

様々な分野で具体的な取組が示されており、各省庁において、支援ツールが示されているなかで、必要に応じて財政状況や費用対効果、地域資源とのマッチングなど、あらゆる可能性、導入効果を勘案しながら、幅広く検討していきたい。

脱炭素なんて日常生活に関わりが無いのでは、とも思いますが、原油高による燃料代や電気代の高騰による家計圧迫を、次世代エネルギーの活用で、コストを抑えて、もっと住みやすい奈井江町になる可能性も秘めています。

DX（デジタルトランスフォーメーション）の取り組み

町長 まちの情報発信、傘下校管理、母子手帳アプリ、循環バス配車アプリ、お年寄り見守り、ドローン配送、除雪効率化など様々な活用が

根岸

DXの取り組みについて。

町長

行政サービスについては、住民票などのコンビニ交付事業を開始。子育てや介護などの各種申請手続をオンラインで行うことができるようになっておりま

す。

さらに、国が、令和7年度までに、全自治体の行政システムの標準化・共通化を目指す中で、北海道自治体情報システム協議会との連携を進めています。

町民サービスにおける取組は、LINE公式アカウントが現在985件で新たにチャットボット機能を追加。一部の公共施設の仮予約システムを導入。みなク

ル等では、サインージを設置して予約状況の確認が可能。

根岸

デジタル田園都市国家構想交付金の活用予定は。

町長

デジタル技術の恩恵を著実に町民に根付かせる施策を各種展開しているところだが、さらなる取組の推進に向けて、デジタル田園都市国家構想交付金などのメニューの活用も視野に入れて、協議会やベンダーとの検討内容も踏まえながら、効果的で真に必要なとされるデジタル化ということを進めていきたい。

デジタルと聞くとわかり辛いいイメージがありますが、少子高齢化による人口減少でまちの担い手も不足する中で、デジタルの力で効率化や省力化を考えていかないとけません。例えば、自動運転で走る巡回バス、生活必需品をドローンが届けてくれる。決して夢物語ではありません。

地域公共交通の充実について

町営バスの循環ルート・停留所の見直しについて

音声はこちら



星 厚早

星

高齢化が進み、運転免許証を返納する住民が多くなり、さらに、住民の足となる町営バスの利用者が増えることが予想されます。町営バスは現在向ヶ丘線と市街地循環線の2路線がありますが現在の利用状況についてお伺いします。

町長

向ヶ丘線につきましては、昨年10月からないえ温泉の休館に伴い、ないえ温

ている町民のためにも、循環ルートの見直しや停留所の増設また移設を求めたい。

町長

泉発の早朝6時台を1便減便させていただき、平日10便、土日祝日を8便で運行し、利用者は一昨年と比較して866名の増、5、650人の方に利用されており、市街地循環線は、平日4便で運行し、利用者は町民ニーズを反映したダイヤの改正、バス増設などを行い、1、824人の方に利用されています。

星

バスを利用されている町民から聞き取りをし、循環ルート内の停留所で利用頻度が少ないところがあると知りまし。時間的な口スをしているのではないかと？バス利用が必要とされ

利用促進の一環とする循環ルート・停留所の見直しなど、現在進めている多世代共生型交通システムの中で、新たな地域公共交通の在り方を検討しています。中空知の交通計画との連動と整合性を図り、町民の参加と協力で、必要な調査・検討を進め子供から高齢者まで誰もが利用しやすい移動手段の提供・利便性の向上を目指していきたい。

学校給食費完全無償化の実現について

星

昨今の物価高騰によって家計が圧迫される中、学校給食の無償化は急がれるものです。そうした中で今、

無償化の波が全国で広がっています。

小中学校の給食費の無償化を実施していた自治体が22年度には40まで広がっており、今年度から網走市や東川町など、新たに始まっているところもあります。

近隣市町村で完全無償化になっている自治体は、上砂川町、浦臼町、そして歌志内市があります。

奈井江町では、第1子は全額負担、第2子は半額負担、第3子以降は無償としています。今こそ完全無償化にする時期に来ているのではないのでしょうか？

町長

令和2年度から始まった第6期まちづくり計画後期実施計画においては、多子世帯への町独自の支援施策として、第3子全額、第2子半額の無償化をスタートさせており、これらに係る町の費用は年間で約600万円となっております。

また、奈井江町が全ての児童生徒の給食費を全額無償にするとした場合は、約1,000万円ほどの増額が必要であり、年間1,600万円になる試算をしている

まちづくり後期計画がスタートした以降も生涯活躍のまち事業に取り組みなどしてまいりましたが、町民の定住、町外からの移住促進などの施策を進めている上においても、子育て支援の魅力を高めることが重要な課題であると町長に就任したときから持っている。

給食費の全額無償化もその中の一つではありません。奈井江町らしい子育て支援策をどう発信していくのか、まち全体の子育て支援策をいま一度俯瞰して、その一方で、奈井江町の財政推計もしっかりと捉えながら、現在、庁内において検討を行っている。

旧温泉・公衆浴場について

音声はこちら



篠田茂美

篠田

①旧温泉施設分の民間提案制度のその後は
②唯一の公衆浴場がなくなると「風呂難民」が懸念されるが

町長

①将来にわたる町の負担は困難と判断して、町営温泉は断念し、公募したが成立しなかった。
温泉以外の公共性のある用途で、施設の分割も含めた応募条件の見直し

を検討して行く。

②令和2年度に公衆浴場を利用して59名にアンケート調査を行い、町の基本的な考えを整理した。

- ・持家の方：住まいの風呂を利用
- ・風呂のない方：入浴可能な住まいに移転、公営住宅の方は、自ら浴槽等を用意するか、条件の合う他の公営住宅に移転

公衆浴場経営者と連絡を取り合い、役場窓口で利用者の相談も受ける。

篠田

旧温泉の温浴施設と町営バス運行をリンクさせての検討は。

町営バス：向ヶ丘到着
最終便が午後4時半で、居住者は困惑している
老人・障がい者入浴券
助成はどうなるのか

町長

どのような形で町が応援でき、公衆浴場を継承した
だけのかの相談には乗るが、町営でやることは、難しい課題がある。

現行 公衆浴場運営費補助と老人等入浴券助成で5百万円の支援

町立国保病院について

篠田

①小西院長が退職して約2年が経過するが、後任は
②経営改善は

町長

①継続的にお伺いしているが、地域的な問題や働き方の希望等を理由に承諾までいかないと伺っている。

②医師、看護師等が、しっかり向き合っている。

地域医療は、地元医歯会と十分な連携を図り、町民の健康管理に努めてほしい。

奈井江商業高校について

篠田

①現在の生徒数、教員数は
②町の支援状況



教育長

①

	入学時	現在	内奈中
1学年	5	5	2
2学年	17	16	5
3学年	19	14	2
計	41	35	9

教員 … 19名
(内町内居住者 5名)

②PR費用、生徒のトレーニングウェア、制服購入費、各種模試検定費用の助成。

岡山県立高梁城南高校への交通費（大阪から）

在校生等に町が支援できることはしてあげてほしい。

ようこそ奈井江町へ

定住・移住政策の成果により奈井江町へ移住する方が増えています。

今回は、土田さんです。

札幌で経営する古道具店の立ち退きに伴い、自然の豊かな環境の中で仕事が両立できる土地を探し、仕事に必要な大きな倉庫を求めてたどり着いたのが奈井江町でした。

初めは仕事のための“建物”への愛着で通い始めた町でしたが、四季ごとに景色を変える田んぼの姿と、いつも町を見守るようにずっしりと構える樺戸連山の景観に心を奪われ、そう時間の経たないうちに移住をすることになりました。

町の移住促進の取り組みによって住みよい家と、大きな土地を少ない負担で手に入れることになり、おかげ様で思い切って畑仕事や庭造りなど、かつて理想とした自然に近い暮らしを送ることができるようになりましたが、昔ながらの商店や銭湯の雰囲気、気さくに声を掛けてくださる近所の方やイベントごとに皆さんで協力して取り組まれてい

る奈井江町の方々の、人間的な魅力に惹かれたところも非常に大きな移住のきっかけになりました。

同じように都心から自然的な暮らしに憧れて訪れる方になにかこの町の魅力をもっと伝えられないか、今後町が注力されるであろう空き家や移住の問題に対して、古道具店としてできるお手伝いを少しずつ考えていけたらと思っております。“古いもの”のお困りごとがあればお気軽にお声掛けください。

土田瞬さん



第7回 奈井江町議会

議会懇談会

町民に開かれた議会をめざし議会懇談会を開催します！
グループに分かれて誰もが気軽に話せるようにしております。
どなたでも参加できますのでお気軽にご来場ください。

- ▶ **日時** 10月17日(火)
 - ・昼の部 午後1時30分～午後3時
 - ・夜の部 午後6時00分～午後7時30分
- ▶ **場所** 公民館大ホール

お問い合わせ 奈井江町議会事務局
Tel 65-2166 Fax 65-2809
E-mail gikai@town.naie.lg.jp

今期4年の決意

議員それぞれが想いをカタチに！

※議席番号順

1番

根岸 一志

(ねぎし かずし)

1期目



- 持続可能で住みよく魅力的な奈井江町へ
- ◎空き家、空き店舗の活用で活気あふれるまちへ
 - ◎イベントやコミュニティの推進
 - ◎医療介護福祉の連携で子供からお年寄りまで安心して住み続けられるまちに
 - ◎若者世代を巻き込んだ新しい視点でのまちづくり
 - ◎デジタル技術の活用による快適な生活へ

2番

星 厚早

(ほし こうぞう)

1期目



- ごいっしょに、誰もが安心して
住みつづけられる町づくりをすすめます
- ◎子どもを大切に、子育て世代を応援する町づくり。
 - ◎高齢者やその家族が、安心してくらす町づくり。
 - ◎若者が希望をもてる町づくり。
 - ◎地元中心に経済が循環する町づくり。
 - ◎町民の声が届く町政・議会を目指します。

3番

篠田 茂美

(しのだ しげみ)

2期目



- 明日に向かって「明るいまちづくり」
- ◎公平公正なまちづくり
 - ◎地域経済の振興を目指すまちづくり
 - ◎安心して生活できるまちづくり

4番

遠藤 共子

(えんどう ともこ)

4期目



- ともに考え・歩み
町民の声を活かす！
- ◎農業担い手の育成と確保
 - ◎定住移住対策と子育て支援や教育の充実
 - ◎町民の持つ活力を生かしみんなで作り上げる町づくりの推進

5番

石川 正人

(いしかわ まさと)

4期目



地域の創生・コミュニティの新たな創設
未来に向けて発信する、**商工業の活性化**

3つの政策テーマ

- ◎地域間、世代間の交流の活性化を進めます。
- ◎開かれた情報公開のもとで、議会と住民のコミュニケーションの活性化を進めます。
- ◎農工商連携の活性化を図り地域から発信をすると共に、雇用の拡大を目指します。

7番

笹木 利津子

(ささき りつこ)

6期目



誰もが主役の元気な町づくりを目指します！

◎地域の声に真摯に向き合い、町民に寄り添った活動を進めます。

- ◎安心して子育てが出来る支援・対策を進めます。
- ◎防災減災対策に、女性の声を反映させます。

8番

大関 光敏

(おおせき みつとし)

3期目



町民に信頼され寄り添う議会を目指す

- ◎農業や地域経済の振興をはかり、活力ある町づくり
- ◎福祉の充実をはかると共に、子育て環境の充実
- ◎人口減少に歯止めをかける政策の充実
- ◎定住促進施策の推進

6番

大矢 雅史

(おおや まさふみ)

5期目



未来につなぐまちづくり

- ◎医療・福祉・介護体制の充実
- ◎少子化対策と子育て支援の充実
- ◎未来を見据えた公共施設等の管理運営
- ◎基盤整備等未来に向けた農業支援対策の充実

9番

森岡 新一

(もりおか しんじ)

6期目



奈井江町の進むべき方向性をしっかり見極め、
活力のある未来に
向けて最善を尽くします

- ◎定住促進対策の推進
- ◎商工業・農業 地域産業の振興
- ◎子育て支援・高齢者福祉施策の推進

北海道町村議会 議員研修会

日時 7月4日
場所 札幌コンベンション
センター

ひょうご震災記念21世紀研
究機構理事長
五百旗頭 真氏いおきべ まことによる

「ウクライナ危機後の世界
と日本」と題しウクライナ
危機で日本人の考えが変わ
ってきた。始まった戦争を
やめるには、回りの各国の
協力がなければやめられな
い。日本として戦争をさせ
ない仕組みを考えることが
重要と

政治ジャーナリスト
田崎史郎氏

「日本政治の舞台裏」と題
し阿部政権での人脈づくり
や評価。岸田
内閣の政策の
考え方や世界
とのつながり
等、広範囲に
及ぶ内容でし
た。



中空知ふるさと市 町村圏議員交流会

日時 7月5日
場所 赤平市「交流セン
ターみらい」

一般社団法人weirb
e Design
理事長 篠原辰二氏

演題 「災害時における被
害の拡大防止に向けた自
助・互助・共助・公助の
推進」と題し、これまで
のボランティア活動支
援、災害サポートチーム
の設立の経過等の報告か
ら、今や民間の力が必要
であり10項目にわたり、
最新の国の動向を踏まえ
災害時及び災害に備えた
取り組み
の視点に
ついての
研修会で
した。



委員会報告

議会運営委員会報告

- 6月12日
・ 第2回定例会の議会
運営について
- 6月20日
・ 追加議案について

広報常任委員会報告

議会だより31号（6
月1日発行）編集のた
め4回の委員会を開催

全員協議会報告

- 6月9日
・ 第2回定例会の議案
説明について
- 6月16日
・ 第2回定例会の議会
運営について
- 6月20日
・ 追加議案について
・ 議会運営委員会から
の答申について
・ 一部事務組合の報告
について
- 7月24日
・ 議会懇談会について

第3回定例会（予定）

■日程 9月7日（木）
～9月14日（木）

■場所 役場3階議事堂

どなたでも傍聴できます。お気軽にお越しください。

問い合わせなどは議会事務局まで

☎ 65-2166

✉ gikai@town.naie.lg.jp

表紙の1枚

第32回砂川地区広域消防組合
連合消防演習



編集後記

新しい顔ぶれになっての
初めての6月第二回定例会
を終えることが出来ました。
個人的には初めての一般
質問で緊張しましたが、奈
井江町の課題に対して今ま
での取り組みや今後の在り
方を質問しました。今後の
行政に活かされることを願
います。

また、コロナ禍で中止さ
れていた様々な行事が再開
され、まちにも活気がみら
れるようになりました。4
年ぶりに開催されたふれあ
いまつりも大勢の来場者で
賑わいを見せ、最近奈井江
町に移住された方の中には、
奈井江町にこんなにはいっ
ぱい人がいたんですねと驚き
の声もいただきました。
少しずつではありますが、
コロナ禍前の日常に戻りつ
つあります。

まだまだ暑が続きますが、
お体に気を付けてお過ごし
ください。（根岸）

発行 奈井江町議会 編集 広報常任委員会

委員長 遠藤 共子
副委員長 根岸 一志
委員 笹木利津子
星 厚早